蝉時雨　待望の3rd.Single
「ナミダ工場」
2007年5月9日発売
ユニバーサル ミュージック
UPCH-5451 ¥1,100(tax In)

蝉時雨新聞

創刊号
２００７年３月２０日
発行所
蝉時雨ナミダ普及委員会
編集（有）ティーズクライム

リリース情報

名曲完成！「ナミダ工場」

5月9日 第三弾シングル発売決定！

ナミダの工場を知っていますか？　誰もの心の中にあるノスタルジックを呼び覚ます名曲が完成した。早速ライブでも披露され、生で聴いたファンの間では、はやくも「名曲」との噂が飛び交っている！

作詞曲を手がけた中根大輔

「待ち人に花」「北風ハンカチーフ」と続けさまに疾走感あふれるアップテンポでPOPなナンバーをリリースしてきた蝉時雨（セミシグレ）、今回そんな彼らの真骨頂でもあるミディアム・テンポの王道"胸キュン"ナンバーをついにリリースする。

２作続けて歌詞の中では「待つ」のか？「待たない」のか？「歩き出す」のか「歩き出さない」のか？聴き手に「？」とじっくり考えさせる、スルメや昆布のような歌詞と言われつづけてきたボーカル・中根大輔青年が、一歩踏み出して辿り着いた先の「ナミダ工場」。そこは実際に「ある」のか？「ない」のか？ここにきてまたそんな疑問符はもたげるものの、誰もの心のなかにある、子供の頃の特別な場所。今、行ってみればなんのことはない、ちっぽけな場所でも、子供の頃の数々の思い出が詰まった場所。それを思い起こさせるような楽曲の肌触りに仕上がった。

その期待の新曲は、２月17日の高円寺・クラブライナーのイベント・ライヴで初披露され、同23日の大阪ミューズ、25日の京都ミューズでも生で演奏されたが、早くも多くの反響を呼んでいる。

ファンの一人・米倉麻衣さんは、「メロディーが切なくて、歌詞がものすごく心に沁みてきました。17日のライヴで初めて聴いたんですけど、どうしてもまた聴きたくなって・・・。気がついたら大阪のライヴ会場にいました（笑）」という。

まだ、聴いていないファンは、今すぐオフィシャルサイトを確認し、ライヴに足を運ぶべきだ。

今回のアーティスト写真。撮影は梅佳代さん

士気上がるメンバー
気になるカップリングは？

ライヴ会場で配布・回収されているアンケートでは「ナミダ工場」に感動したという感想が多数寄せられたという。また、個人ブログの中で言及している人も多く、早くも「名曲誕生だ」との声が上がっていて、メンバーの士気も徐々に上がっている。

一方、カップリング曲の「トケイソウ」について中根は「合宿レコーディングを経て、メンバーそれぞれの演奏力と、バンドとしての一体感＝グルーヴを得た事で、三度目となるプロデューサー根岸氏とのセッションも大いに盛り上がりました。情熱溢れる演奏そのままに収録、ライブでの再現も楽しみにしていてください」と言う。

バンドは早くも、次にリリースされる初のフル・アルバムまで制作を終え、ライブに向けた各自のスキルアップと、プロモーション、そしてさらに次ぎの作品に向けての楽曲制作に励んでおり、この夏に羽ばたけるよう日々精進中・・

ライブでのパワーアップした姿、そしてアルバムでの予想を上回る幅広い音楽性にも注目だ。

梅佳代さんが撮影
ビジュアル制作も進行中！
話題の女流写真家

写真家：梅佳代（うめ・かよ）さん

「ナミダ工場」の発売が発表されて話題を呼んでいる中、CDジャケット等のビジュアル周りの制作も進行している。

その中でも今回の一番の話題は、全ての写真を梅佳代さん（うめ　かよ・２５歳）が担当したことだ。梅さんは日常生活のなかで起きている一瞬の出来事を捉えた初の写真集「うめめ」がこのジャンルでは珍しく三万部を超える売り上げをあげ話題になり、今年一月十四日にはＴＢＳテレビ「情熱大陸」で取り上げられ一躍時の人となった女流カメラマン。

撮影現場ではメンバーと同世代にもかかわらずテキパキと指示を出して、ササッと撮影が進行して行った。「大学生みたいでかわいい」（梅氏談）と言われながらも、その特異な仕事ぶりに圧倒されっぱなしのメンバーだったとか。

スタッフ通信

“情景詩人”蝉時雨

アーティスト担当：亀山清輝
ユニバーサルJ
プロダクト・マネージメント部

「人の心を動かす風景や場面を表現する」。

蝉時雨が創りだす作品の魅力は、そんな情景を奏でるところにあります。写真家がその瞬間にシャッターを切るように、作詞・曲を担った中根（Vocal & Guitar）というファインダーを通して出来上がった作品たちには、温もりや甘酸っぱさ、そして人恋しくなる気持ちが満載です。

「言葉だけで事足りるなら、そこに写真は必要ない。だけれど写真だけでしか伝えられない物事があるから撮り続けているんです」。あるドキュメンタリー・カメラマンが語ったように、蝉時雨の作品でしか伝えられないモノがあります。
必ずやみなさんの心の琴線に触れることでしょう。
新曲「ナミダ工場」、まずは聴いてみて下さい。
そして最後にスタッフとしてみなさんに一言・・・
「これからは蝉時雨とつきあってみませんか？」

キックOFF!!!

ハ・ジ・マ・リ・マ・シ・タ！！！！！！

ドラムの菊池直人です！　僕がいろんな事をグダグダグダグダ書いてくコーナーでーす＼(^o^)／　タイトル『キックOFF！！！』

別にサッカー詳しくないけどね！　僕、菊池直人＝キックって呼ばれてて、そんな僕の休み→オフに掛けてみたわけさ・・・・・・・・・・・・はいはい。

さてさて、もう春のニオイぷんぷんですが、みなさんいかがお過ごしですか？？・・・そーですかー。ウキウキしてますかー。なんか春ってウキウキするもんね！！花見・出会い・新生活・昼寝・花見・ポカポカ・花見・そして、花見！いいですよねー、春。

え？花粉がツライ？？しょっちゅう鼻チ～ン！ってしてる人いるもんね。お疲れさまです。。

んーと、３月・４月のライヴはアッチ行ったりコッチ行ったり、楽しみだー－－－－！！！！！

まあ、春だから気持ちもアッチ行ったりコッチ行ったりするかもしれないけどね！！？アハハハー！！！

んじゃ、行ってきまーす！

ナミダ喫茶

蝉時雨責任編集

私のナミダ体験談①

僕とナミダ、思い起こせば幼少期はかなりの泣き虫として近所では評判だったわけですが、この頃の涙っていうことの大半は“悔し涙”でした。

当時の僕はとにかく負けず嫌い。子供なのでいろんなモノゴトの分別がつかないもんだからとにかく負けたくないという気持が先行していたわけで、年上や絶対に勝てない相手、大人に対してでも自分が劣っていることに納得ができずによく泣いていました。当時住んでいたマンションの中庭が幼少期の僕にとっては人間社会の全てだったので、毎日のように僕の溢れ出す感情がマンション中に響き伝わっていたわけですね。

子供の頃って大人よりも遊びに対して本気じゃないですか？これが僕の場合は家の中に兄という永遠の対戦相手がいたわけですからもう親としては大変ですよ。「お兄ちゃんなんだから優しくしなさい！」“バチーン”「優しくしなさい！」じゃないんです。「卓！あんたいい加減にしなさい！」“バチーン”と愛のムチを受けるというのがほとんどでした。

そんな毎日にたまりかねてかどうかは分かりませんが、僕の母は僕を習い事漬けにしていくのです。小学校に入る頃には少年野球チーム入団をはじめ、ピアノと水泳も習ってました。それぞれの場でも僕はその溢れる感情を爆発させるわけですが、マンション以外の場所で刺激を受け、感性を養い、人として成長していくことでその鋭利なナイフがそぎ落とされていくわけですね。

そんな今では考えられないほどにアグレッシブだった幼少期をすごした埼玉県和光市にあるマンションが僕にとっての“ナミダ工場”であると言えますね。（井塚卓・25歳＝蝉時雨・ベース）

一体何が!? レコーディング現場から

誰もが沈黙！重い空気

なにやら深刻そうなメンバーの写真だが、これは昨年末に市ケ谷の一口坂スタジオでのミックス確認の現場だ。

各楽器のバランスや効果、響きなど様々な項目をチェックし、最終的な音源となるので、慎重だ。妥協は許されない。時にはメンバー間での意見の相違もあり、それぞれが納得するまで何度もトライされ、議論される。

ここの写真はそういった最終的な確認のための一場面だ。普段は見られない真面目なメンバーの表情が伺えて面白い。

写真手前から、ベース・井塚、ギター・吉崎、ドラム・菊池（寝ているわけではない）。

一番奥に「猫背」だけ見えているが中根であるが、どうやらスタジオに備え付けのコーヒーを入れているようだ。

果たして、どんな音に仕上がったのか、いち早くCDをゲットしよう。

吉崎経済学士の

経済学的お料理レシピ

菜の花と鳥皮のエコノミック和え

今回は初回なので、ホントにすぐに出来る簡単激ウマおつまみを作ってみました。予想以上に美味しくてもうびっくり。じゃレッツクッケン。

（1）シチューか何かに使って余ってしまった鳥皮を適当なサイズに切る。（余りものを有効活用する。なんてエコノミックなんでしょうね。）

（2）菜の花（旬ですね）を適当に切る。

（3）油を少しひいたフライパンで鳥皮を焼き色が付くまで焼く。

（4）そこへ菜の花を投入。少し焼く。

（5）小鉢に移して醤油と酢を1：1ぐらいの割合で適当に入れる。

ハイ。出来上がり。菜の花の苦味とお酢の酸味が…大変なことになってるはずです。美味しく出来たかな？今回はこんなところで。次回も楽しみにしててね～。（吉崎聡・蝉時雨・ギター）

ライヴ・スケジュール

超飛行少年的 ～ハイパーフライングツアー～
ゲスト参戦！

●3/23（金） 熊谷HEAVEN'S ROCK
●3/29（木） 高崎Club FLEEZ

時間：open/18:00, start/18:30
出演：超飛行少年/蝉時雨/各地元バンド1組
お問合せ：フリップサイド宇都宮 TEL:028-633-1009

●4/4（水） 東京・Shibuya DUO

タイトル：POP LESSON #2
前売￥2,000/当日￥2,500（+DRINK¥500）
時間：open/18:30, start/19:00
他出演：オトナモード/nobol/and more...
お問合せ：DUO MUSIC EXCHANGE TEL:03-5459-8716

●4/10（火） 東京・Shibuya O-Nest

タイトル：POP PARADE!!
前売￥2,000/当日￥2,500（+DRINK¥500）
時間：open/18:30, start/19:00
他出演：SPLAY/and more...
お問合せ：shibuya O-Nest TEL:03-3462-4420

●4/13（金） 大阪・LIVE SQUARE 2nd LINE

タイトル：future #3
前売￥2,000/当日￥2,500（+DRINK¥500）
時間：open/18:00, start/18:30
他出演：TOY/UTARI/Hippogriff/and more
お問合せ：LIVE SQUARE 2nd LINE ?06-6453-1985

たまには違った雰囲気で蝉時雨の楽曲を弾語りで楽しんでみませんか？

●3/24 西荻窪 w.jaz

JUKEBOX presents "UNPLUGGED"
つれづれ食堂/中根大輔/OA：ナッツ＆ミルク
チケット：¥2500 /1D込

蝉時雨の最新情報は－
パソコンからも携帯からも

http://www.semi-shigure.com

*携帯からは左のQRコードからも行けます！

＜広告＞蝉時雨Official Site / semi-info@e-kanji.jp

募集

蝉時雨新聞では、皆様からの感想、メッセージとともに、「私のナミダ体験談」の原稿を募集しています。郵送でもメールでもOK。ナミダ無しには語れないお話を教えてください。

採用された方には、「蝉時雨特製記念品」をプレゼントいたします。

［応募方法］氏名（匿名希望者はニックネームも）、住所、体験談〈400字以内〉を後述の宛先に郵送するか、メールでお送りください。

［送付先］〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道102 有限会社ティーズ・クライム「蝉時雨新聞係」または semi-info@e-kanji.jp まで。●携帯サイトの送信フォームからも応募できます。